

第1学習期間は、「新しい環境に慣れること」「新しい科目の学習を進めること」の両面があり、お子様にとって大変な部分があったと思いますが、一人一人が自分の状況を確認しながら最後まで取り組む姿が見られました。

通信制は、登校日数は少ないですが、その分、ご家庭で自学自習を中心とした生活リズムを作り、年間を通して単位修得に向けた学習を継続することが大切となります。レポートの提出期限や定期テストの日を見据えながら、心身ともに余裕を持って取り組むことができるよう、計画的に学習を進めてください。また、テストで合格するためには、学習内容を理解しながらレポートを完成させることが重要です。スクーリングに出席し、分からないところは教科担任へ質問し、学習内容を理解することでテストでの合格を目指してください。第1学習期間での頑張りを活かすことができるよう、ご家庭でのお声かけをお願いいたします。

今年度は、球技大会、校外学習と学校行事を行うことができました。学校行事を通して生徒同士のつながりが増え、休み時間に楽しそうに過ごす姿が見られます。8月からは9月の文化祭に向けた取り組みが始まっています。活動の様子は『飛驒通信』で紹介しています。『飛驒通信』は通信制のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

## 教務部より

### 第2学習期間は11月11日です

	前半科目	3修科目	後半科目
定期テストを受けるための レポート提出期限	10月6日(木) 16:30まで	10月6日(木) 16:30まで	10月20日(木) 16:30まで
定期テスト日	10月16日(日)	10月20日(木)	10月30日(日)

※年度当初予定の11月6日(日)の追テストは、11月3日(祝)に変更しております。

レポートに関する注意 (『学習の手引』p7~10)

○提出について

- ・空欄の多いレポートは「受け付けされない」「再提出となる」ことがあります。
- ・同じ日に、同じ科目のレポートを2回分以上まとめて提出することはできません。

公共 No.1 公共 No.2 → 1通のみ受付。もう1通は返却されます。

再提出のレポートは同時に提出することができます。

公共 No.1 公共 No.2(再提出) → 2通とも受付されます。

郵送1通と持参1通で2回分提出することはできます。

郵送 持参(職員室のポスト)

公共 No.1 公共 No.2 → 2通とも受付されます。

### 注意!

郵便事情により、レポートが学校へ届くまで、以前より時間がかかっています。

定期テストを受けるため、レポート提出期限が迫った時期に郵送をした場合、状況によっては期限までに学校へ届かない場合があります。提出すべきレポートの枚数と期限までの日数を確認し、余裕をもって提出してください。※郵便事情により、やむを得ない場合は配慮いたしますので、ご相談ください。

## テストに関する注意(『学習の手引』 p17～20 )

- ・受験の際は筆記用具の他に「受験許可証」と切手を貼った返信用封筒が必要です。
- ・定期テストの合格点は、40点以上です。なお遅刻は認められません。  
やむを得ない事情で当日受験できない場合は「追テスト」(合格点50点以上)を受けられます。必ずHR担任まで事前に連絡をしてください。

ただし11月3日(祝)文化の日までに受験をしない場合、再テストとなります。

**・学習期限までにテストを受けなかった科目は、今年度の単位修得はできません。**

・追・再・特別テストを受験できる日や予約の方法は、以下を参照ください。

### ◎ 平日に受ける。

昼間に一日最大4科目まで受験できます。

前日の16:30までに受験科目と時間の予約が必要です。

**スクーリングのある日(日曜S、水特別S、3修S)、通信制休業日は受験できません。(手引きの最終ページ参照)**

### ◎ 11月3日(祝)の追再テスト日に受ける。

日曜スクーリングの時間割で、最大4科目まで受験できます。

予約は不要です。

学校へ連絡した上で登校してください。

Q:レポート提出が期限に間に合わなかった。



A:テスト範囲内のレポートを全て11月4日16:30までに合格すると「特別テスト」を受けることができます。

Q:期限には間に合わせたが、まだ再提出のレポートが残っている。



A:定期テスト日の前日までに合格し、「受験許可証」を手に入れてください。

Q:どうしても都合が合わず定期テスト日に受験できない。



A:事前に担任に連絡し、後日「追テスト」を受験します。無断欠席の場合は、合格基準と評価の異なる「再テスト」になります。

Q:定期テストを受験したが、届いた結果通知書を見たら不合格であった。



A:「再テスト」を5回まで受験できます。11月11日の第2回学習期限日までに合格を目指してください。

Q:受験科目の定期テストの時間割が重なっている。



A:必ず事前にHR担任もしくは教科担任に相談し、指示を受けてください。原則、当日、その科目のテスト時間以降のテスト時間に受験します。不都合な場合、どちらも追再テスト日までであれば、定期テストとして受験することができます。



## 教育相談部より

本校のスクールカウンセラーは北村和代(きたむら かずよ)先生です。生徒本人はもちろん、保護者の方の相談も受け付けています。カウンセリングを希望される方はご連絡ください。

【通信制職員室直通電話 (0577) 32-6013】担当:鍋山(教育相談)

★通信制HP 相談窓口の紹介もご一読ください★

2年生より履修できる少人数コミュニケーション講座『ワールドリンク』が始まりました。少人数で様々なテーマについて意見交流や話し合いをする中で、自分の考えや気持ちを表現する力、様々な人との関わる力を高めていきます。安心してお互いの考えや気持ちを伝え合う活動を通して、相手への伝え方を工夫したり、お互いの意見を参考にしながら話題を深めたりする等、自分自身を成長させる生徒の姿が見られます。9月にプレ講座、11月に令和5年度受講の案内を配布する予定です。詳細は担当者までお問合せください。(担当:鍋山)